

資金繰り表と 新たな取り組みで



コロナ危機を乗り越える

2021年12月14日(火)

受講料無料

14時～16時30分

事業を営まれる方にとって「資金」とは体の中を流れる「血液」といえるのではないのでしょうか。一時的に売上がなくなったとしても、また、一時的に赤字に陥ったとしても廃業には追い込まれませんが、「資金」だけは別です。いまだ、連日、世間を騒がせている新型コロナウイルス感染症の拡大ですが、「持続化給付金」や政府系金融機関や民間金融機関の実質無利子・無担保融資等の「緊急輸血」により支えられた方も多くいらっしゃると思います。しかし、この「緊急輸血」により、目先の資金繰りに目途がついたとして立ち止まってはおられませんでしょうか？ 新型コロナウイルス感染症対策として多くの融資に「据置期間」が設定されていますが、この「据置期間」が設定されている間に元本返済開始時に耐えることができるよう事業を見直し、再構築を検討しておかないと、大変な事態に陥ってしまうことは容易に想像ができます。そこで、本セミナーでは、あらためて「資金繰り表」を見直し、新たな取り組みに挑戦することで、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の社会の変化に対応し、危機を乗り越えていくためのポイントについて解説いたします。なお、本講座は、昨年9/17に開催したセミナーが大変好評であったため、第二弾として開催いたします。つきましては、重複した内容もございますので予めご了承ください。昨年ご参加いただいた方はより知識を深めていただくため、また、昨年ご参加いただけなかった方は知識習得のため、この機会にぜひご参加ください。



定員 40名(先着順)

場所 姫路商工会議所 本館6階605会議室

申込先
問合せ先

姫路商工会議所 中小企業相談所
〒670-8505 姫路市下寺町43

TEL (079) 223-6557

FAX (079) 222-6005

URL <https://www.himeji-cci.or.jp/>



申込方法 裏面の申込書に必要事項をご記入の上、FAX・郵送、またはHP(WEB登録)にてお申込み下さい。

※受講証は発行いたしません。定員を超過してお断りする場合のみ、ご連絡をさせていただきます。

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、やむを得ず変更・中止する場合がございます。変更・中止等の連絡は、原則FAXにて行います。

講師



財務リスク研究所株式会社
代表取締役
よこやま ごいち
横山 悟一氏

大学卒業後、会計事務所・コンサルティング会社等の勤務を経て、独立。
約10年にわたる研究を重ね、指標を使わない世界初の分析手法「ビジュアル分析」を開発。難解なバランスシートをわかりやすくするだけでなく、決算書に潜むリスクや粉飾を読み解くノウハウを確立。
分析した決算書はすでに6,000社を超えている。



カリキュラム

- コロナ融資を受けた事業者の現状
- 稼いだ利益はどこへ消えたのか？
・キャッシュフロー計算書で原因を探る
- キャッシュフロー計算書の構造
- 資金繰り表とは？
- 資金繰り表を作るメリット
(本講座では資金繰り表の作り方については触れません)
- 事業再構築の必要性
 - ・事業再構築に不可欠な経営理念・ビジョン
 - ・事業再構築のヒントは「顧客の声」にアリ
 - ・事業再構築のヒントは「従業員の声」にアリ
 - ・ピンチはチャンス



新型コロナウイルス感染症対策へのご理解とご協力をお願いいたします。

- ・参加者は全員マスクの着用をお願いいたします。
- ・受付にて検温を実施させていただきます。
- ・受付にアルコール消毒液を設置しておりますので、着席前に消毒をお願いいたします。
- ・研修室内は定期的に換気を行います。お席によりましては暑さ・寒さを感じる場合もございますので、調節できる服装にてご参加ください。
- ・ソーシャルディスタンスに配慮した配席とし、研修室内の密集を低減いたします。



[FAX は切らずにそのまま送信してください]

12/14「資金繰り表と新たな取り組みでコロナ危機を乗り越える」

参加申込書

事業所名			
所在地	〒	TEL	
		FAX	
参加者名	①	②	
E-mail			

このセミナーを知ったきっかけは？ ①所報 ②HP ③メルマガ ④Facebook ⑤新聞(神戸・読売) ⑥その他()

FAX 079-222-6005

姫路商工会議所 中小企業相談所 行

※ご記入いただいた情報は、商工会議所からの各種連絡・情報提供、セミナー参加者の実態調査・分析のために利用する他、講師に提供することがあります。